

# ★正しい搾乳機器の洗浄ポイント★

## ①アルカリ・酸性洗剤を正しく使うこと

乳脂肪・蛋白質・乳糖類を分解するアルカリ洗浄を毎日行いましょう。  
その後、カルシウム・マグネシウム等を分解する酸洗浄を週2~3回行って、  
上手に洗浄を行いましょう。

## ②殺菌剤（次亜塩素酸ナトリウム）を正しく使うこと

器具の汚れを完全に洗浄した後に、ぬるま湯を使って正しい使用濃度で希釈しましょう。熱湯に入れると塩素が急激に蒸発します。

## ③洗剤の4条件をきちんと守ること

洗浄濃度、洗浄温度、洗浄時間、洗浄水量を正しく守りましょう。

## ④水質にあった洗浄方法を選ぶこと

水質検査などで水の硬度の確認をして、水質にあった洗浄を行いましょう。

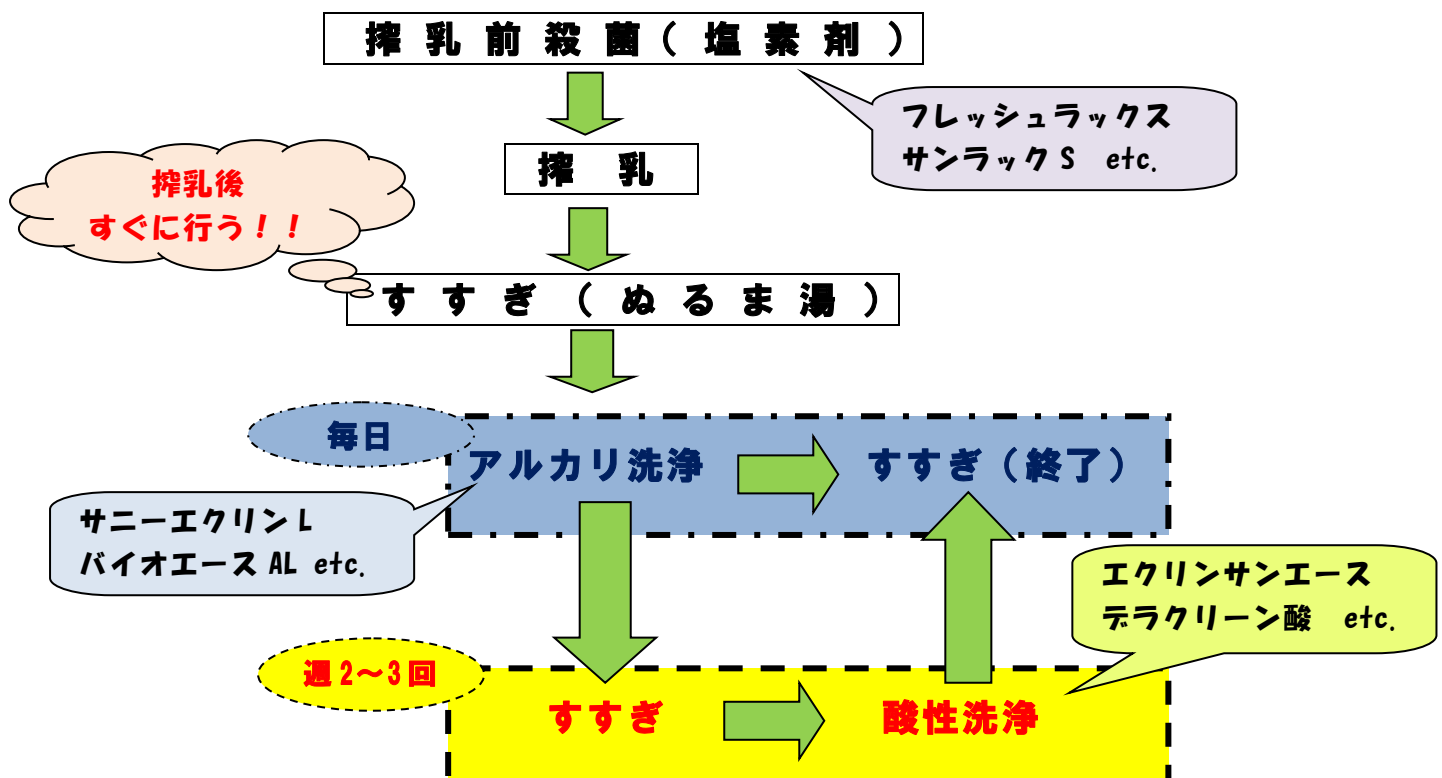
## ⑤毎日汚れを完全に落とすこと

汚れは少しずつ蓄積するもの。カチカチの乳石になる前に取り除きましょう。

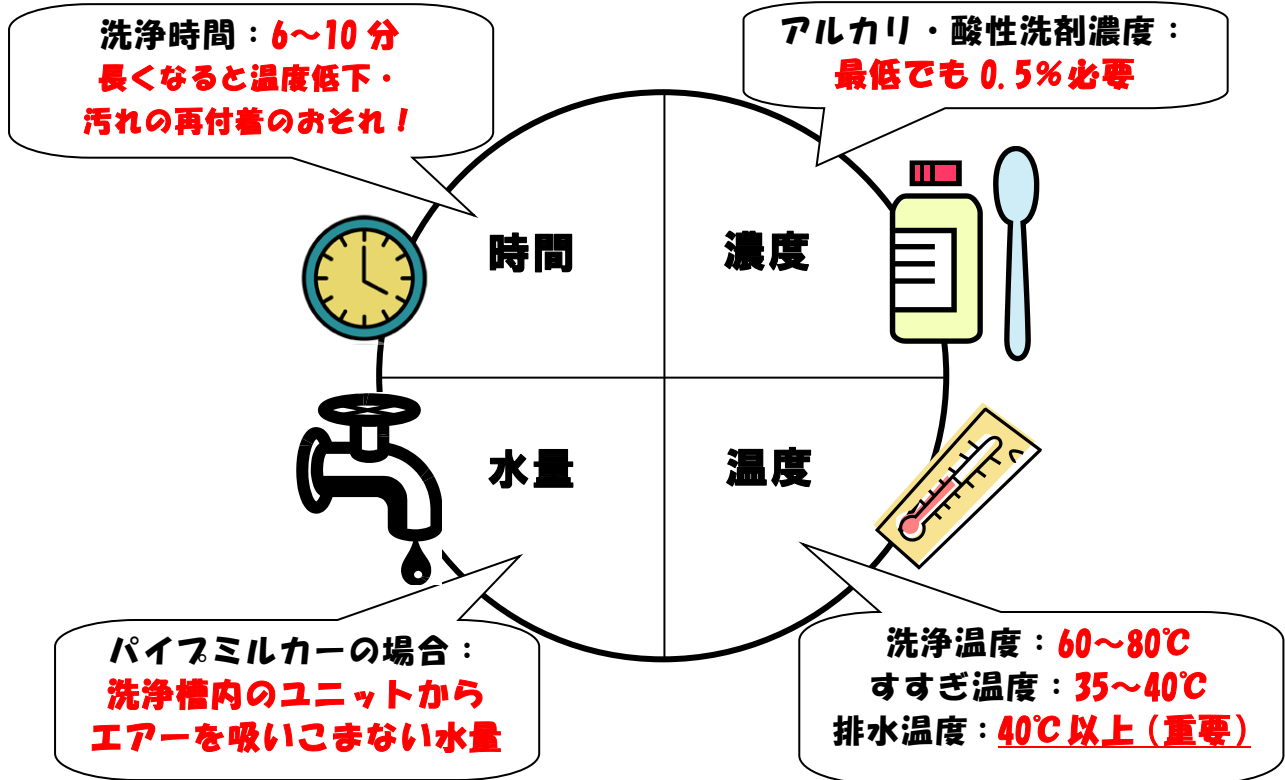
## ⑥機械の定期メンテナンスを受けること

搾乳器を定期的にメンテナンス・交換しましょう。

## 搾乳機器の基本洗浄法

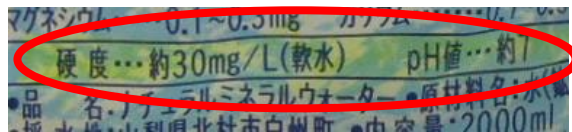


## 洗浄の4条件を守りましょう！

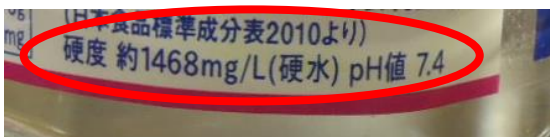


## 牛舎の水質チェックをしましょう！

水質が軟水であれば、通常通りのアルカリ・酸洗浄方法を行って問題ありません。



井戸水を使用している場合は、水の硬度が高い可能性があります。硬度が高い水は、酸洗浄の頻度を検討する必要があります。

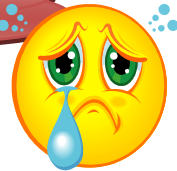


地域によっても水道水の硬度が違います。一度、日常使っている牛舎の水の水質検査を行ってみてはいかがでしょうか。

## 部品のこまめな点検も忘れずに！



乳石がこびりつく前に・・・



定期的に点検・メンテナンスして  
清潔な状態を保ちましょう☆



参照：良質乳生産ガイド（社団法人 中央酪農会議）

「搾乳機器の管理と洗浄の講習会」資料（オリオン機械株式会社）